

に 仁方小だより

第7号

令和7年10月1日
呉市立仁方小学校

本物にふれて

2学期に入って、あっという間に1ヵ月が過ぎていきました。短い間ですが、充実した日々を過ごしています。9月に体験した行事の中で、「本物にふれる」機会がたくさんありました。その一部を紹介します。

9月9日（火）洋楽アーティスト訪問

公益財団法人呉市文化振興財団が行っているアウトリーチ事業の一つで、マリンバ奏者に学校に来ていただき、生の演奏を間近で聞くことができました。子どもたちがホールに行くのではなく、アーティストが直接学校へ出向くことで実演芸術を体験する機会を提供していただく事業です。昨年、台風接近のため、リンクアップコンサートに行くことができなかった6年生を対象に開催していただこうと応募したところ、実現しました。

学校にはない大きなマリンバを持参され、たくさんの種類のマレットで音色が変わることなどを演奏しながら教えてくださいました。

音楽室で行ったので、本当に目の前での演奏に食い入るように聞いていた6年生でした。演奏終了後、奏者の方とお話したら、「説明するたびに、一生懸命メモを取る姿や、うなずいて聞いてくれている姿を見て、とっても嬉しかったです。」とおっしゃっていました。とってもいい体験ができたので、ぜひ、来年以降も応募して、他の学年にも体験してもらいたいと思っています。



9月17日（水）～9月18日（木）修学旅行

1泊2日の修学旅行は、自分たちの地域では得られない自然や文化に直接ふれ、まさに「本物にふれる」旅でした。いつも一緒にのともだちと、本物に出会って心震える旅をするからこそ、小学校生活の中でも一番の思い出として刻まれていくのでしょう。

赤間神宮



海響館



9月29日（月）走り方教室

現在、学習発表会の練習真っただ中ではありますが、5・6年生は、10月25日（土）の陸上記録会に向け、放課後の陸上練習も始まります。それに先駆け、走り方教室が開かれました。夜中に降り続いた雨で、運動場は水たまりだらけの状態だったので、体育館のシートを急遽はがして、走るスペースをあけて行いました。講師は、なんと、アテネオリンピックに日本代表選手として出場した松田 亮さんです。速く走ることができるようになるための、体の動かし方を教えてくださいました。これから、陸上記録会の練習に向けて取り入れていきたいものです。

休憩時間を挟むと、ずっと近付いて質問している様子も見られました。「走り方教室」の最後は、希望者と一緒に走っていただきました。運動場でできれば、もっとスピードを感じることができたのではないかと残念な気もしましたが、だんだんと加速していく様子に思わず声が上がりました。

終了後、5年生と6年生の各クラスに、サインを書いていただきました。色紙には「継続は力なり」の文字が。

松田さんは、みんなと同じぐらいの時に、陸上を始め、続けてトレーニングをしていくことで、記録が伸びたのだそうです。続けて頑張ることの大切さも教わった素敵な時間でした。



土井ヶ浜ミュージアム



松下村塾



秋芳洞



修学旅行中は、たくさんの注意報が発令され、夜は、雷が鳴りっぱなしで、このまま旅行を続けられるのかと心配しましたが、雨は降っても、見学先では上がっていたり、バスに乗り込んだら雨が降り出したりと、お天気にも恵まれていってることができました。めったにない経験で、良い思い出になることでしょう。